



平成 22 年度

地域交通支援モデル事業について

2 件採択し、1 件は認められなかったため、  
特区申請することになりました



### 現状

- ・ 県内透析患者 約2,000人
- ・ 透析導入平均年齢 約67歳（高齢化進行中）
- ・ 長期透析による合併症等により、足が不自由な方が増加
- ・ 通院困難者の増加

### 福祉有償運送モデル

- ・ 運行形態 / 自家用車を活用した送迎
- ・ 運行方法 / 会員登録及び事前予約制
- ・ 利用料金 / 距離制料金
- ・ 事業費 / 約111万円
- ・ その他 / 将来的には県内全域の運行を目指す

### 事業内容

通院送迎サービスふれあいが募集したボランティアが  
自家用車を活用して  
透析患者の自宅と病院との間を有償運送する



# 採択事業

安全で過ごしやすい小城中山間地域しくみづくり事業（小城市）  
～ 特定非営利活動法人 佐賀県CSO推進機構

採択

## 現状

- ・ 路線バスも走らない交通空白地域が多数存在
- ・ 環境意識の高まりにより、環境に優しい移動手段が求められている
- ・ 観光地の魅力づくりが求められている

## ベロタクシー運送モデル

- ・ 運行形態 / ベロタクシー（リース）を活用した送迎
- ・ 運行方法 / 事前予約制
- ・ 利用料金 / 時間制料金
- ・ 事業費 / 約195万円
- ・ その他 / 日頃は地域住民の移動手段として  
イベント開催時には観光客の移動手段として  
街の活性化につなげる多目的な運行

## 事業内容

「佐賀県CSO推進機構」が募集したボランティアが  
ベロタクシー（リース）を活用して  
高齢者、児童・生徒などを有償運送する



写真は福岡市の事例



写真は太宰府市の事例

# 国から認められなかったため、特区申請を行うこととしました。

地域支え合い仕組みづくり事業(鹿島市)～ 特定非営利活動法人 めくもいのまちづくり「さえずり」

## 現状

- ・鹿島市世帯数 約10,000世帯
- ・高齢化率 24.2%
- ・交通の不便な谷筋に集落が点在する地形
- ・家事・身辺援助の必要な高齢者等の増加

## ボランティア無償運送モデル

- ・運行形態 / リース車両を活用した送迎
- ・運行方法 / 会員登録及び事前予約制
- ・利用料金 / 時間制料金
- ・事業費 / 約200万円
- ・その他 / 家事・身辺援助や子どもの預かり等の総合的なサービスに付随する送迎

## 事業内容

めくもいのまちづくり「さえずり」が募集したボランティアが  
リース車両を活用して  
移送を含む家事・身辺援助サービスを有償で提供する

## 国の見解

県補助金が運送の対価と見なされ、登録を要しない運送(無償運送)と見なす事ができない。

このため

構造特区申請等により実現に向けて働きかけを行っていく。

今後運送の対価とみなされない補助の方法を検討する



### 【伊万里市東山代町】 定時定路線型貸切バス

地元自治会が  
住民主導のダイヤ編成を行う  
貸切バスを運行し幹線交通と結節



- ・運行時間、経路、料金等の検討に半年以上かけ、平成21年4月から試験運行を開始
- ・順調に利用者が増加したため、7月に実証実験を終了し、8月から本格運行に移行

### 【玄海町全域】 自家用無償旅客運送

町社会福祉協議会が  
保有する車両の遊休時間を活用し  
住民を無償運送



- ・平成20年11月から試験運行を開始、その結果を踏まえ、21年1月に経路等を見直し
- ・その後、順調に利用者が増加したため、5月に実証実験を終了し、6月から本格運行に移行

### 【佐賀市大和町川上校区】 デマンド型貸切バス

地元自治会が  
住民の需要に応じて  
集積地への貸切バスを運行



- ・平成20年10月～11月は定時定路線運行
- ・12月～1月はデマンド方式で運行
- ・いずれの運行も利用者が見込みを下回ったこと等から、1月末で実証実験終了



### 【NPO法人中原たすけあいの会】 自家用無償旅客運送

NPO法人中原たすけあいの会が  
保有する車両を活用し  
中原庁舎を中心として東西南北を定路線で無償運送



- ・平成21年10月から試験運行スタート
- ・平成22年2月に、みやき町と応援協定を締結
- ・現在も試験運行を継続中

### 【NPO法人こだま】 自家用無償旅客運送

NPO法人こだまが  
保有する車両の遊休時間を活用し  
停車場ふれあい茶の間(お茶サービス等を行う  
世代間の交流の場)と自宅との間を無償運送



- ・平成22年1月から試験運行スタート
- ・平成22年4月から、下宿の旧山路旅館に続き、2箇所目のふれあい茶の間(吉田の野中医院)を開設
- ・現在も試験運行を継続中

### 【基山町】 デマンド型乗合タクシー

基山町が  
タクシー会社に委託して  
自宅と登録地(駅など)との間を無償で乗合タ  
クシーを運行



- ・平成21年12月から試験運行スタート
- ・平成22年3月15日をもって試験運行を終了
- ・住民アンケートの結果、既存の定時定路線の循環バスをジャンボタクシーに転換し、必要に応じて増車することとした。(実証実験終了)

# これまでの成果と今後の取組への活用

成 果	今後の取組への活用
<p>地域の自治会やNPO法人等による、貸切バスや自家用無償旅客運送などの新たな取組の始まり。</p>	<p>地域の自治会やNPO法人等の会合に出向き、これまでの取組の成果を広く周知することにより、他地区での展開を引き続き働きかける。</p>
<p>身近な移動手段の必要性等について、既存の路線バス事業者やタクシー事業者等の理解が得られつつある。</p>	<p>既存の路線バス等との連携(乗継)や棲み分けにより、身近な移動手段との共存共栄を目指していく。</p>
<p>マイカーの普及率が高い本県においては、「バスがあった方がよい」という人の大半は、実際には利用しないことが判明。</p>	<p>マイカーから既存の路線バス等への転換を促す「モビリティマネジメント」の取組も並行して行っていく。</p>
<p>地域の自治会やNPO法人等の自家用無償旅客運送等の取組の必要性について、地元自治体の理解(既存の路線バス等の利用を奪うのではなく、潜在的な利用者の開拓にもつながる)が得られつつある。</p>	<p>地元自治体と自家用無償旅客運送等の課題を共有し、道路運送法に抵触しないかたちでの市町の主体的な取組を促していく。</p>
<p>個別輸送型の自家用無償旅客運送の取組は、住民同士の口コミ等により徐々に広がっていく。</p>	<p>区長、民生委員等を中心とした地域の協力により、地道な利用者拡大をめざす。</p>
<p>自家用無償旅客運送の継続性の厳しさ(ガソリン代等の実費すら収受できない。地元自治体が支援する場合は「運送の対価」とみなされる等)の再認識。</p>	<p>政策提案、特区申請などにより制度運用の改善や法律の改正(交通基本法制定の動きとも連動)を提案していく</p>

# 〔参考〕事業の背景

## これまでの公共交通

- ・路線バス
- ・コミュニティバス
- ・タクシー



満たされていないニーズがある

## 高齢者等 交通制約者の声

高齢になったので  
免許を返納したところ  
地域に交通手段がなく  
困ってしまった…

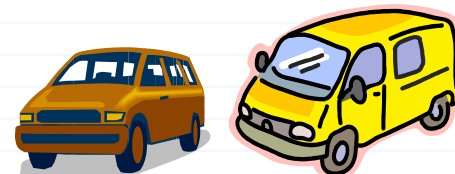


バス停が遠いから、歩いて行くのも一苦勞。通院も買物も大変…

## 公共交通の拡充

- ・市町村運営有償運送
- ・福祉有償運送
- ・過疎地有償運送

H18.10～改正道路運送法で創設



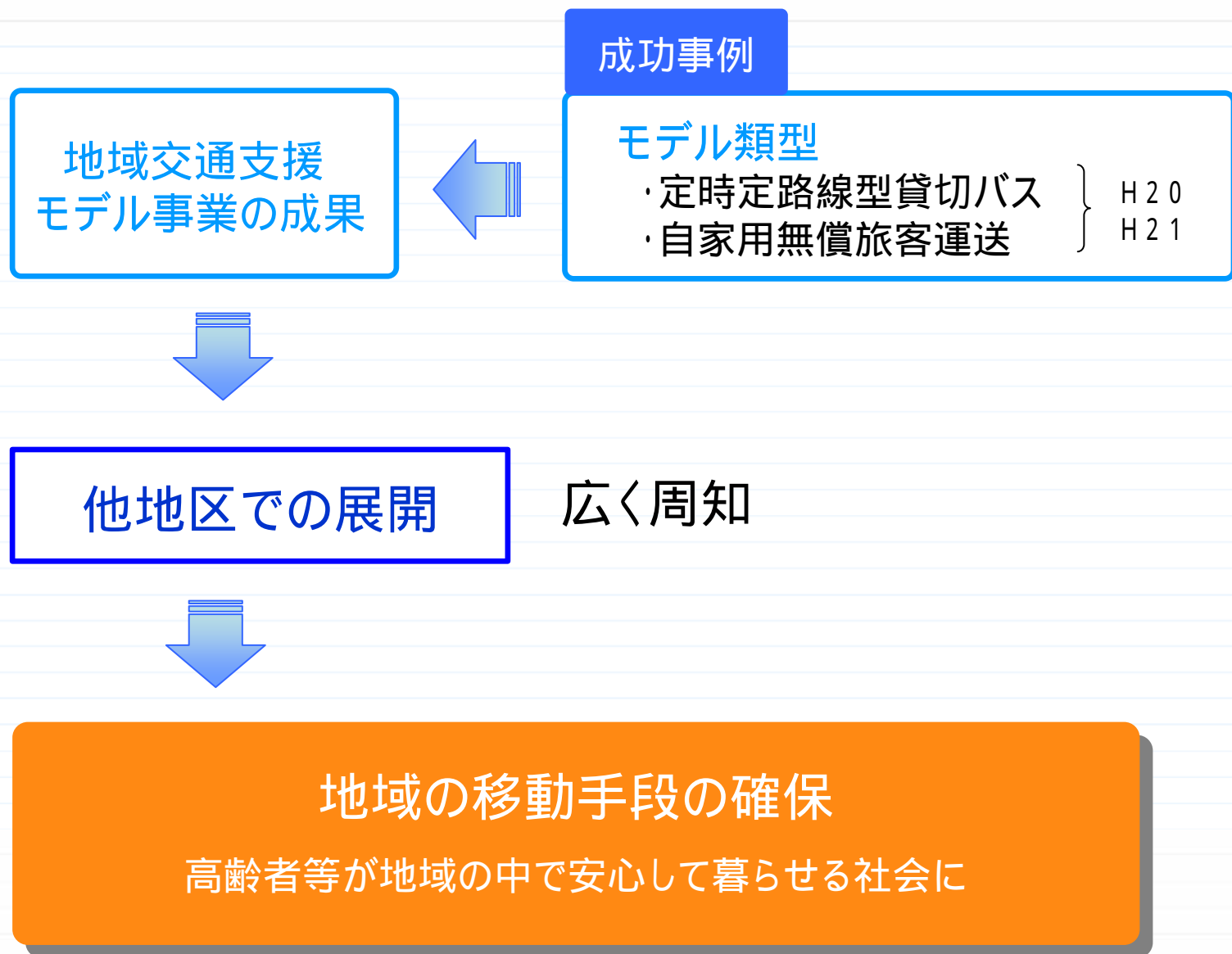
## 【地域交通支援モデル事業】

バスやタクシーを補完するものとしてよりきめの細かい  
新たな地域交通のしくみづくり

社会福祉協議会、NPO、自治会等によるアイデアや人材を活用した自立的、自発的な取組を支援



# 〔参考〕 今後の取組み



# 地域交通支援モデル事業を 採択しました



地域みなさまが安心して暮らせる社会を目指して、  
みなさまと一緒に地域の交通を育ていきましょう。



お問い合わせ先

佐賀県 交通政策部 空港・交通課

TEL: 0952-25-7182

E-mail: kuukou-koutsuu@pref.saga.lg.jp